



# あだいに

# 90号

平成30年10月24日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>  
〒010-0201 秋田県潟上市天王字上江川47 ☎(018)878-6028 FAX(018)878-2517



## 目次

### 特集 2018年の夏

- ・1点は遠かった。ノードン、フルベース、スリーボールでも  
浅利正雄 … 2
- ・野球好きの独り言  
相澤 修 … 3
- ・高校野球  
肥田野文夫 … 4
- ・今年の夏  
笹尾 知 … 5
- ・観測史上最大の大雨による全員避難  
斎藤晴樹 … 6
- ・ひと夏の思い出 ―熱い会津の想い―  
関 啓二 … 8
- ・『オペラ白虎』  
佐々木康雄 … 10
- ・ある夏の日―冷房の効いた部屋で  
テレビを見ながら思ったこと―  
中村直文 … 11
- 会長レター⑧  
三つのいいね！ と三つの残念  
佐々木範明 … 12

- 理事会 … 13
- 生涯教育講座 … 14  
本山 悟 先生 / 宮越尚久 先生
- ふんぶんコラム … 16
- ワンポイントアドバイス② … 17  
加藤一麿 先生
- 新入会員 渡部久美子 … 18
- “五城目の中ちゃん、三たび  
―どこで最期を迎えたいですか？―  
中鉢明彦 … 19
- 書類―情報提供書の怪 肥田野文夫 … 20
- 今日の診察室から③ 鷗木栄樹 … 22
- ナイトキャップ … 23
- 編集後記 … 24
- 表紙説明 … 24

特集

# 2018年の夏

ヒマラヤに雨が降り、飛ぶハエの姿が確認されたのは今から30年前という。私たちは気象異常とっているがもはや気象変動の真つただ中らしい。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨から8月にかけて観測史上最高だった猛暑、9月には関西空港を水浸しにした台風21号に北海道地震と、まさに災害列島の今を私たちは生きている。

さりながら、やはり何といつても金足農高だ。8月8日の初戦で鹿児島実業を撃破してから大垣日大、横浜、近江、日大三高と私立の強豪校を次々なぎ倒し、決勝で大阪桐蔭に屈するまでの奇跡的な快進撃は全国民を魅了した。21日午後は消防署の119番が沈黙し、広小路も新国道も走る車がなく、水道局のメーターまで半減したと聞く。あの暑く、熱かった夏を検証する。⑦



杉山病院（潟上市）

浅利 正雄

## 1点は遠かった。ノーダン、フルベース、スリーボールでも

久しぶりに高校野球甲子園に興奮した。金農の準優勝おめでとう。

今や、甲子園で地方の公立高

校が勝つことは至難のことである。

それだけに金農の活躍は全国で応援するファンが多数で彼等

も力づけられたのである。ただ小生、老人のせいとかテレビでの応援も不安でできなくなりつつある。

テレビのスイッチを入れた時、ホームランで逆転したあとだったし、ツーランスクイズはフルベースになる直前からテレビをみていた。

決勝戦は2点とられた時、テレビのスイッチを切り、逆転を期待しつつテレビをみた時は勝敗は決まっていた。

半世紀ほど前、三沢高校と松山商業の決勝戦は、三沢市立病院の院長住宅で新しく購入した大型テレビの前でしっかり応援していた。

延長18回の裏、得点は「0対0」。三沢高校の攻撃、ノーダン（ノーダウン／無死）、フルベース、スリーボールナッシング。あとボール1球でサヨナラ勝ちである。しかし点が入らず、



潟上市広報から

翌日再試合で敗れ、準優勝に終わったのであった。今回の始球式に太田投手が出ていた。東北のチームが勝つには何かツキみたいなものが、と言っていたと記憶している。

あの時は本当に優勝と思った。伝統の力なのか、懐かしく悔しい思い出である。



## 野球好きの独り言

あいざわ胃腸科クリニック

相澤 修

今年の甲子園は本当に熱狂しましたね。まだ興奮が冷めやらないのですが、今一番の関心事は吉田君の進路です。この原稿を書いている時はまだ大学かプロか表明していません。そしてこの会報の発行日はドラフト会議の前日です。

### 私は「阪神」と予想

能代市出身の私は能代第一中学校、能代高校と生徒時代を過ごした。高校時代などそんなに楽しい思いをした記憶もないのだが、何故か母校愛がとて強い。その我が能代一中は3年前、全県野球大会の準決勝で吉田君率いる天王中学校と対戦し3対1で勝利している。



私立の強豪次々撃破!



秋田魁新報社写真集から

当時の吉田君は、全県レベルの好投手のひとりという存在だったと思う。それが金農での3年間で日本のエースになったのだから、どれだけ頑張ったのか想像もつかない。今年の甲子園県予選、3回戦で能高が金農と当たった。前年も3回戦で金農に負けていたのだ。この試合、あわやという所まで行ったのだが、最後の最後に9回サヨナラ負けで終わった。もし能高が勝っていたらあの金農ファイバーはなにかいつも通りの甲子園になって

いたはずだ。金農のメンバーに聞いたのだが、甲子園のどの試合よりも能高との試合がベンチ内に緊迫した空気が流れていたらしい。

小学生の頃は近所の子たちと近くの公園で毎日野球をしていた。中学生になったら野球部に入りエースを目指すと考えていた。しかし能代一中の野球部は監督が異常に怖かった。練習を見学に行ったところ、ものすごい練習風景にまだ小学校を卒業したばかりの私は震え上がり野球部への入部を断念した。しかし野球への未練はその後も続き、その夢は子供たちに託す事にした。息子2人には小3から野球をやらせた。中学校でも頑張ってくれて我が事のように楽しんだ。そしていよいよ「目指せ、甲子園」のはずが、親の根性なしを受け継いだのか、過酷な高校野球は避けるように2人とも応援団へと逃げてしまった。まあそんなものかと諦めたが、一番の自慢は、長男が中3の時、吉田君(当時天王中2年)からヒットを打った事だ。練習

試合だけだ。

平成4年の甲子園秋田大会決勝は能高と金農だった。能高にとっては実に14年ぶりの甲子園が懸かった大一番だった。一進一退の試合展開。5対5で迎えた8回表ついに能高が1点を勝ち越した。だが9回裏、1死1・3塁の大ピンチを招いてしまふ。しかし嶋崎監督はここでお家芸のスクイズを行わず、能高が甲子園出場を果たした。当時自分は3年目の研修医で、当日は手術があり第2助手として手術に入っていたが、試合結果を聞いた時は歓喜した。この時の監督は幼稚園から高校まで一緒だった幼なじみの納谷聡君で、甲子園でも1勝してくれてとても誇らしい気持ちになった。残念ながらその後能高は甲子園に行っていない。しかし来年はあの金農を苦しめた五城目一中出身の佐藤君がエースとして残っている吉田君からホームランを打った田口君もいる。きつとやってくれるだろう。

吉田君、阪神に來ないかな。



秋田魁新報社の写真集から

秋田魁新報社の写真集から  
 新聞記事で)、で、  
 他のナインも地道  
 な基礎練習や体力  
 作り、そして誰よ  
 りも猛練習を続け  
 られたから結果を  
 出せたのです(週  
 刊朝日の代表校戦  
 力データの広告欄

第100回全国高校野球最終  
 日以降、秋田県は「感動をあり  
 がとう」一色ですが、例えばサッ  
 カーのワールドカップで予選敗  
 退すると、「感動を…」どころで  
 はなく選手が卵を投げつけられ  
 たり、オウンゴールなどしよ  
 うものなら射殺されるなど世界標  
 準は厳し過ぎ、日本代表は穏や  
 かな国民性に感謝してもしすぎ  
 ることはありません。「ありがと

う」の後に「勇気(元氣)をもらっ  
 た!」のも精神的に幼い方によ  
 く見られる反応ですが、もらっ  
 た勇気を自分の将来や社会貢献  
 に生かしたりというのは今まで  
 にほとんど例がないようで、そ  
 もそもすぐれた方は「努力は人  
 知れず自分でするもの」とわ  
 かっていいのでしょうか。吉田投  
 手はあまり好きでなかったラン  
 ニングをいつからかは欠かさな  
 かったそう(確か

に「先ずは初戦突破!!」と書い  
 てるのが冗談みたいでした)。  
 私は高校野球の熱狂的ファン  
 で小学生から地元北海道の活  
 躍を聞いていて(当時はテレビ  
 は地元の試合だけ放映、長くな  
 ると放送延長はないのでラジ  
 オ)、昭和38年の春の決勝で下関  
 商に0-10で負けた時はしばらく  
 泣き続けていました。北海の  
 ピッチャーは吉沢(巨人に入団、  
 目立った活躍なし)、下関商は池  
 永(後に八百長疑惑で永久追放、  
 多分えん罪)だったのが鮮明に  
 記憶にあります。その後は、駒  
 大岩見沢などの活躍はあったも  
 のの夏の本番はベスト4止まり  
 でした。やっと、86回大会の駒  
 大苫小牧が済美高校(やれば出  
 来るは魔法の合言葉)という空  
 想的な校歌で有名、今大会もベ  
 スト4)に奇跡的に勝って北海  
 道勢初優勝を果たし、翌年の夏  
 連覇、翌々年の早実の斎藤祐樹  
 との引き分け再試合を戦った田  
 中将大(現大リーグ)が有名で  
 すが、初めのエース岩田や鈴木  
 の方が印象は強いですね。神さ  
 まなどは信じない私が「死ぬま

でに一度だけ北海道勢の優勝を  
 見せて下さい」と大会ごとに祈  
 り続けて白河の関どころか津軽  
 海峡を越えて深紅の大優勝旗が  
 海を渡りました(あと死んでも  
 いいと思っただのは本当で、それ  
 から私はいろんなことが「どう  
 でもいい」と思うようになりま  
 した)。  
 香田先生という名監督が率い  
 たのですが、負けた後はマスコ  
 ミが不祥事を捜し出してきて天  
 国から地獄に落とされ、失意の  
 うちに苫小牧を去っていきまし  
 た(『勝ち過ぎた監督-幻の三  
 連覇』集英社)。メディアは持  
 ち上げておいてはしごをはずす  
 のが仕事ですから執拗なあら採  
 しには「事実ではありません」  
 と抵抗しても徒労です。東北勢  
 は51回の三沢(延長再試合、太  
 田幸司)に声援を送ったのです  
 がかなわず、53回の磐城高校(福  
 島)の後、最近71回の仙台育  
 英、93、94回の光星学園、97回  
 の育英と優勝までもう一步のと  
 ころにきています。  
 今大会の金足農業は公立学校  
 の快進撃で全国民を味方につけ



## 高校野球

杉山病院 (潟上市)

肥田野 文夫



ての活躍は素晴らし過ぎて言葉には言い尽くせません。高校野球球マンガの傑作、三田紀房の「クロカン」「砂の栄冠」を地で行っているがごとくです。全国からの支援募金もたくさん集まり明るい話題のない秋田県にさわやかな風を送ってくれ、金農の野球部とその関係者・支援者（近くの食堂の親父さん、おばさんとか）と支えた学校は本当に賞賛に値します。

偉業をたたえ立派な記念碑を…という声もあるようですが、石をいくらか高価にしたところで部員たちが強くなるわけではありません。私立名門校は照明つきの専用グラウンドは普通で、屋内練習場も完備、トレーニングマシンやら球速180kmも出る最新の機械などで鍛えられ、近年の大会を見るとわかりますが打撃技術が急速に進歩して、どんな速い球でもどんなに鋭く落ちるスライダーでも対応できるようになっています。できるなら、練習場や機器、グラウンドの整備など私立の強豪校に負けないような、努力がそのまま

力になるような環境で戦わせてあげたいですね。そして何年か後になるでしょうが、東北初の選手権大会優勝一番乗りは金農

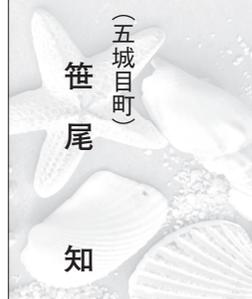
でしようから、その時に大きな大きな碑を建てていただきたいと思えます。



## 今年の夏

笹尾医院（五城目町）

笹尾 知



ンとかキャサリンとかである。アメリカではハリケーンにそんな名前をつけている。進駐軍の命令だったのだろう。優しい女性の名前だったのに実際は大暴れた台風だった。私がフレッシユマンとして大学の医局に入った年、中部地方に上陸して名古屋港に高潮で甚大な被害をもたらし、5千人の死者を出した伊勢湾台風も最初は女性の名前で呼ばれていたような気がする。もう遠い昔のことなので

今年の夏は暑い日が多かった。県内で五城目町が最高気温を記録したこともあった。数十年前38度になった日があり、当時はまだクーラーが無く診察室の机に触れると熱い感じがした。体温より熱くなっていたのである。その頃はまだ若かったので平気だったけれど、今ではちょっと暑くてもクーラーのご厄介になっている。

今年はその上、大きな台風や地震などの自然災害もあった。幸い我々の地域は大きな災害からは守られているが、これから

先に何がおきるか予測は不可能なので油断はできない。日本列島に上陸した台風の中には、中部地方に上陸してから西日本に向かい、更に九州へ行き海上に出た。それがまた九州に上陸したりすれば出戻り台風と新聞の見出しに出たりしたかもしれない。

しかし今では出戻りなどという表現を使ったりすればハラスメントと攻撃される。自立した女性と表現しなければならぬ。戦後すぐの頃、台風には女性の名前がつけられた。ジェイ



彼岸花（天王グリーンランド）

私の思い違いかもしれない。

進駐軍がいなくなつてからはこの習慣はなくなつてしまった。日本女性の名前をつけたのではいろいろと差し障りがある。

最近問題となつたのは医学部の入試で男女受験者の間で点数に格差をつけるということである。女性受験者の点数を減らして入学者を少なくし、女医さんを減らそうというのである。女医さんはどうしても救急や当直に向かないし、出産育児で勤務を休まれると穴埋めが困難になるからである。

昔は女性は医学部に入ることができなかつた。医師を希望する女性は女子医専に入るしかなかった。戦後、医学部にも女性が入学できるようになり、昭和28年に私が医学進学課程に入つた時も4人の女子学生が入つてきたが、皆大学の付属女子高校から入学した人達だった。

外部から一般の試験を受けて入るのは厳しかったものと思われる。3人は医者の娘、1人は戦前日本弁護士会の元会長で戦の時法務大臣を務めた人の娘

さんだった。私のような田舎者が話しかけても、アラ、そうと一蹴されてしまう東京育ちのお嬢さんたちだった。きびしい臨床の場には誰も進まなかつた。

進学課程が終わつて本科に進む際にまた試験があり外部の人にも受験できた。その時合格して入つてきた女性達はおぼさんのような感じだったが、それなりの覚悟があつたのだろう。それぞれ臨床の場に進んでいる。中には有名なアイドルのお産を引き受け新聞に出た人もいた。

進学高校でトップクラスの成績をとると医学部を受験するようになると言われるらしい。筆記試験の点数がいいからといって医師として適性があるとは言えない。合格は点数で男女格差なくきめるしかないと思う。医師免許を与える前に適性があるのか無いか判断すべきと思う。私に適性があつたかどうか自分では判らない。ただ、この年になつても飽きずにやっているのはこの仕事に興味があり、好きだからだろうと思つている。



## 観測史上最大の

## 大雨による全員避難

湖東老健（五城目町）

施設長 齋藤晴樹

平成28年の台風10号で、岩手県の高齢者施設に濁流が流れ込み、「9人の遺体発見」の報道記事は未だ記憶に新しい。岩泉町の小本川そばの施設（左）と、五城目町の馬場目川そばの私の施設（下の丸印）の立地状況が、川のカーブまで酷似していた事



小本川そばの施設

に愕然とした。

今回、

平成30年

5月18日

の豪雨で

雄物川は

氾濫し、

各地で土

砂崩れが

発生した。

私の

施設（湖

東老健・清流）

でも、前を流

れる馬場目川

が氾濫危険

水位を超え、老健

92名、清流

16名の全入

所者を避難

させる事



私の施設

た。

施設は19年にも水位の上昇で夜間に避難した経験があり、写



真はその時から用いている、堤防の水位毎の職員召集・避難の基準線である（右端の緑線が堤防上端）。

その後町の災害マップや法人マニュアルの整備がすすみ、今回は混乱なく全員の避難と帰還ができたので経過を報告したい。

当日、施設では雨雲の動きと、馬場目川・久保から送られてくる水位情報をネットの防災画面で追っていて、12時過ぎからの急激な上昇を確認した。



法人（正和会）も態勢を準備し、13時すぎに発令された全町避難勧告にあわせ避難準備を開始した。手順は、法人内の他の老健と内科医院・整形外科の空床状況を確認、現場では災害時のトリアージに準じた。すなわち、入所者の状態（独歩・車椅子の歩行状態、ベッド上寝たきり、食事自立（介助）、さらに経管・吸引・点滴・酸素等の医学的環境の必要性を避難者名簿上で分類し、毎日作成・更新している法人内の空床調査票に重ね合わせて各施設の収容人数を検討し、避難先を決定した。具体的には、処置が必要で経管栄養の方々を医療機関へ、状



態の安定している方々（60名）を、施設近くの五城目第一中学校の体育館をお借りして避難して頂くとした（左）。



法人では各部門から応援職員を動員して、16時頃から搬送を開始した。マイクロボスやリフト車も到着して大いに助けられた。また、日頃は入浴時に持参する、氏名記載のオレンジ・バッグに各自の物品を詰めて利用したが、事前に送った避難者リストでの氏名確認が容易となったのは収穫であった。

並行してご家族へ連絡し、職員の家用车も施設裏の高台に移動した。

18時が水位4.62mとピークで、開設以来最高となる、堤防



上端に達した（写真左はこの時刻、その左は翌日いつもの水位に戻った時）。

18時45分に避難が終了し、職員も退去した。私も各避難先を回って帰宅した。途中、町役場



前の道路は車のナビが通行止め（×印）を示したので裏道を通ったが、そこもまだ水位は高く走行に難渋した。県道の歩道には、避難した多くの自家用車が駐車していた。本流の水位のみ注視していたが、水位上昇前に既に支流から地域に水があふれ出ていた事実気付かされた。翌19日には水位も下降し、7

時より避難先から湖東老健へ入所者の移動を開始した。当日は土曜日で、中学校の体育館ではクラブ活動が始まっていて、お礼を言って退去した。11時には全員が無事施設に戻られた事を確認して避難終了とした。避難は勧告から5時間45分、開始から2時間45分を要した。今後はこの時間の短縮が必要と

考えている。最後に、この欄をお借りして、お世話になった五城目町役場や消防団の方々、五城目町第一中学校の校長先生と関係者の皆様にあらためて御礼申し上げます。また、平成28年に亡くなられた岩泉町の利用者のご家族の方々に哀悼の意を述べさせて頂きます。



## ひと夏の思い出

### — 熱い会津の想い —

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

関 啓 二

とは本誌に拙文を寄稿させていただきました（一度観た、しかも一般には知られていないオペラを、今回、なぜわざわざ観に行ったか：（余談ですが、今回は本誌編集長もご同行されました）。

今年の夏は暑かった。秋田の夏も熱く燃えた。しかし私は、秋田から遠く400km離れた会津の地で、心を焦がすような熱い熱い経験をしました。今年、会津では様々な戊辰戦争150周年記念行事が行われ

ています（明治維新150周年ではない！）。その一環として上演されたオペラ「白虎」を、猛暑の7月の会津へ観に行ってきました。このオペラは6年前にやはり会津で初演されたもので、今回は再演です（初演のこ

物語は、白虎隊士の飯沼貞吉が、出陣の前に叔父の西郷頼母邸へ挨拶に訪れるところから始まります。頼母の妻の千重子は、貞吉に「会津の武士として立派に勤めを果たしてきなさい」と歌いかけます。一方、会津藩筆頭家老であるにもかかわ



H24年の初演で  
「佐川吉男賞」を受賞

よるバックコーラスが合唱で表現します。これがまたすごい迫力)。そして白虎隊は飯盛山で集団自決。しかし、貞吉は自刃した白虎隊士の中でただ一人息

を吹き返します。「なぜ俺を助けた、なぜ死なせてくれなかった」と慟哭する貞吉…。

この頃敵はすでに若松城下に迫り、籠城戦のために会津藩士と家族は鶴ヶ城内へ入りました。しかしこの時、限りある兵糧の無駄飯食いや足手まといになつてはいけない、さりとて敵の辱めは受けるまじと、入城せずに自決の道を選んだ子女たちがいました。西郷家では、千重子を筆頭に一族21人が屋敷内で自刃して果てました。千重子は、辞世の句「なよ竹の 風にまかする 身ながらも たわまぬ節の ありとこそきけ」を詠んだ後、幼子を自らの手にか

てから自刃します。ここは千重子役の腰越満美さん(素晴らしいソプラノ!)が一人で演じているにもかかわらず、バックコーラスによる語りも効果抜群で、情景がありありと目に浮かんできます。初演も今回も、このシーンでは観客席のあちこちからすすり泣く声が聞こえてきました。

私の手元には初演のDVDがあり、とにかく泣けるオペラだと思いつつも何回か観ました。しかし、今回改めて生の舞台を観て、この三重唱アリアこそが最も作品が訴えたいことなのだと悟りました。武士の道に殉じた会津藩の人々の高潔な魂も真であるが、子を思う本当の親の心、故郷がそこにあること、生きることの大切さもまた真である。万人の心を揺さぶるこの熱い想いに胸を貫かれ、今年は私にとって忘れえぬ夏となりました。

らず不戦を唱えていた頼母は、貞吉に「死んでは誠の道は貫けない」と諭します。しかし、生粋の会津藩士である貞吉は、頼母を臆病者と侮り耳を貸しません。会津藩は元々武家の教育が盛んで、忠義の為に死ぬことが武士の道という信念は下々まで浸透していました(会津の「什の教え」というのがあり、これを地元の女子中学生達がバックコーラスで歌うのですが、凛として素敵でした)。貞吉は、「立派に死んでまいります」と、頼母と千重子に暇乞いをします。

そして白虎隊の出陣。しかし圧倒的な戦力の敵の前に敢え無く敗走(薩長軍を、地元有志に

を吹返します。「なぜ俺を助けた、なぜ死なせてくれなかった」と慟哭する貞吉…。

この頃敵はすでに若松城下に迫り、籠城戦のために会津藩士と家族は鶴ヶ城内へ入りました。しかしこの時、限りある兵糧の無駄飯食いや足手まといになつてはいけない、さりとて敵の辱めは受けるまじと、入城せずに自決の道を選んだ子女たちがいました。西郷家では、千重子を筆頭に一族21人が屋敷内で自刃して果てました。千重子は、辞世の句「なよ竹の 風にまかする 身ながらも たわまぬ節の ありとこそきけ」を詠んだ後、幼子を自らの手にか



手前の貞吉の首筋には血がにじんでいる



# 『オペラ白虎』

ハートインクリニック (潟上市)

佐々木 康 雄



戊辰150年の節目に会津若松市の「會津風雅堂」で上演された『オペラ白虎』を見た。7月28日、気温35度の会津を案内してくれたのは男鹿みなと病院の会津つこ関啓二先生である。

上演に先立ち、集団自決した白虎隊の中で唯一生き残った飯沼貞吉の孫一元氏(75才)が紹介された。氏は『白虎隊飯沼貞吉の回生』を著している。物語は貞吉を語り部に会津の武士や家族の生きざまを描いてゆく。緞帳が上がると白い仮面をつけた白虎隊の少年たちが半透明のスクリーンの向こうで7か条からなる「什の教え」をモチーフにした合唱曲を歌う。「年長者の言うことにそむいてはなり

ませぬ、うそをついてはなりませぬ、ひきょうなふるまいをしてはなりませぬ、ならぬことばならぬものです…」

京都守護職だった藩主松平容保は筆頭家老西郷頼母を何度か新政府に派遣し恭順の意を示した。だが池田屋事件で藩幹部を殺害され恨み骨髄の長州は会津を救さず朝敵として猛攻を加える。会津は京都守護職として朝廷を守る一方、徳川3代將軍家光の異母弟を藩祖とする葵が家紋の藩ゆえ將軍家に絶対忠誠を誓う立場。このジレンマも白虎隊の悲劇につながった。

という見方もあるようだが、関ヶ原で滅封され冷や飯2百年

余の長州は、朝廷にも幕府にも筋目がいい会津を嫉妬していたのかもしれない。厄介な京都守護職を会津に押し付けた越前や彦根もずるかった。

9月に会津で行われた「会津藩公行列」にNHK大河ドラマ『八重の桜』の綾瀬はるか招かれ「今年も呼んでくれてありがとなし」と挨拶していたが、血気盛んな八重をいさめる家老頼母の自刃した妻千重子は貞吉



飯沼貞吉 (肖像画)

の父方叔母、母方の伯母は後年東大総長となる元白虎隊士の山川健次郎と鹿鳴館を賑わす大山巖夫人捨松の母親で、貞吉は会津の名家の出である。

一元氏の著書によると、一命を取り留めた14才の貞吉は、あらゆることか宿敵の長州藩士に引き取られ長州山口で養育される。やがて電信技術を学び、技術指導者として九州から北海道まで電線を張り巡らす。のちの西南戦争や佐賀の乱で新政府軍が有利に作戦を展開できたのはこの電信のお陰といわれる。

当時の日本は廃藩置県や士農工商廃止、士族の特権剥奪など国の形を新生しつつ、郵便・電



飯沼一元著（星雲社 2013年）

信・鉄道などインフラ構築を可能な限り自前で、軍組織より優先せねばならぬほど西欧化を焦っていた。中国や東南アジア諸国のように欧米列強の植民地にされてはたまらない。朝敵会津藩士は当時教員か警官になるほか道はなかったというが、戦後の国産超特急には貞吉ら有能な元朝敵の他藩士をどんどん乗せる必要があった。恩讐を超え

総力戦で国造りに邁進していた。

開演からほどなくして左隣の女性は目頭を押さえ、クライマックスでは後ろの人がウウツと嗚咽をこらえていた。終演。緞帳が下がり会場に明かりが灯る。目を赤くした大勢の観客に圧倒された。会津を守ろうと立ち上がった仙台や米沢に背を向け、奥羽列藩同盟から離脱した

秋田からやってきた人間が、白虎隊の地でこのオペラを見る……。居心地が悪い。しかし、関先生が紹介してくれた主催者の宮澤氏は「遠いところをわざわざ……ありがとなし」と私の両手を熱く握りしめて下さった。



## ある夏の日

―冷房の効いた部屋でテレビを見ながら思ったこと―

中村医院（男鹿市）

中村直文

60才台も半ばを過ぎると疲れやすく、気力がなくなる。否応なく年齢を感じる。

「ひと夏の思い出」まばゆくもせつない思いを抱いた若者向きのフレーズというふうを感じるのには年のせいだろうか？

ところで私の夏休み、なんのことはない冷房の効いた薄暗い部屋で、買い溜めた本を読む、テレビを見ることであった。

そこで気付いたことがある。おばさんタレントといわれる彼女らの顔が一樣にむくんでいるというか不自然にパツンパツンとつっぱったような顔貌になっている。中にはアンパンマンの頬っぺの様になっているタレン

トもいる、笑いがひきつっているのである。

顔にしわとりやら何やら手を入れていく為であろう、彼女達は本当にきれいになったと思っ



イチヨウ（千秋公園）

ているのだろうか？ おおかた回りに「いつでもお若いですね」とかいわれて悦に入っているようなところだろう。以前読んだミステリー「その女アレックス」にこんな箇所がある。

『その顔を見れば、かつての美女がそのままの望んだためにすべてを台無しにしたのだとわかる。美容整形は時に老いを醜くする。その顔は、どこがどうと特定するのは難しいが、なんとなく全体がずれてしまっていて、顔の体裁をとどめようとしながらも顔としてのバランスを失っている。無理やり引き伸ばした顔面にへビのような目が埋め込まれていて、ふくれ上がった唇のまわりに無数の小じわが寄っている。額が引つ張り上げられたせいで眉までつり上がり、頬のたるみははるかかなたまで移動させられ、こめかみから巻き毛のように垂れ下がっている。真つ黒に染められた髪は啞然とするほどのポリウム

だ。』

一体どんな顔なのだろう興味深いところである。映画化されれば是非見たいと思っているのだが…。いずれにしても美容整形は年をとれば醜くなるのだよ、同感である。

確かにいつまでも若く美しく、スポットライトを浴びていたいと願う心情はわからないではないが美容整形で抵抗したとてますます醜くなるだけだ、人間は所詮年をとって死んでいくものである。老いに価値を見出さなければ、あるいは若さを価値とする限りその人の人生は意味のないものになるにちがいない。…と、そんなことを考えながら私の夏休みは終わったのであります。

無精ひげ 剃りて終わりぬ  
夏休み

：鏡を見ていたら、しみがずいぶん目立ってきた、皮膚科でしみ取りでもやってもらおうかしらん…ナンチャッテ！

## 会長レター

8



三つのいいね！と  
三つの残念

男鹿湯上南秋医師会会長  
佐々木医院（湯上市） 佐々木 範明



青かった稲穂がいつの間にか黄金色になり、豊かな実りの景色が何となく幸せな気分にしてくれる秋の秋ですが、半袖では少し肌寒さを感じる空気の中を赤とんぼが飛んでいるのを見ると、過ぎてしまった夏が何となく恋しくなってしまうのは、夏の内にやっておきたかった事、心残りがあるからでしょうか？

でも、この夏、いいね！が三つありました。一つは昨年全滅した栗が今年は台風の強風にも負けず、結構豊作。虫にもやられず、美味しく頂きました。二つ目は昨年から懸案だった階段下の門柱の交換。適当な太さの丸太がやっと手に入ったと



栗

思ったら、今度はチェーンソーがかつて無いほどの不調。アレコレ時間を見つけてはメンテナンスしてもどうにもエンジン始動せず。始動してもすぐに止まってしまふ。部品交換しようにも製造終了になってるものもあり、復活まで労力と時間がかかりました。詳しく話すとそれだけで10000字くらいに

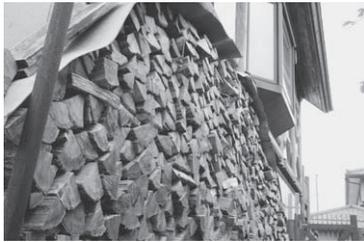
なつてしまいうようなので、とにかく作業が出来て、来春には新しい門柱を取り付けられそうです。三つ目は、やっぱり薪。いい薪の準備が出来ました。見上げて満足しています。

残念も三つあります。一つ目は今年も男鹿雲昌寺のアジサイを見に行けなかったこと。行つたけど、すごく混んでいたという話を聞くと「俺は行きたくてもまだ行けないのに…ポンプン！」って意地の悪いことを思つてしまいます。二つ目はつがる(林檎)の木に何か病気がついて、夏真っ盛りなのに実も葉もみな落ちてしまったこと。人間の病気なら

大体分かっているつもりですが、今まで元気だった木なので油断してしまいました。来年に向けて対策中ですが、健康っていうことでは、



丸太



薪

やっぱり早めに手を打たないといけないですね。三つ目、今夏最大の残念は金足農業の滋賀・近江高戦。9回表、吉田投手が投げ切った時点で、「よく投げ、よく打った、ここまでよくがんばったな〜」ってそれなりに満足して、TV観戦を止めてしまいました。裏の攻撃は下位打線からでしたし、負ける瞬間を見たくないのかもしれない。あ〜そしたらなんと〜！あ〜痛恨のツーランスクイズ・逆転サヨナラの瞬間見逃し!!!ものすごく損をした感じが否めません。

夏はもう戻らない。病気もスポーツ観戦も油断大敵です。

## 理事会

(8月21日 天王温泉クララ)

▼各自自治体から各医療機関へ、通院患者に特定健診の受診を勧めてほしいと協力要請。医療機関に無縁の住民を掘り起こすのが筋だが、受診率が低いと国の補助金減額などペナルティがあり、面倒な書類にめげず協力するよう呼びかけることにした。

▼がん検診の受診勧奨。宣伝の割にさっぱり受診率が上がらない。特定健診同様、会員に協力を呼びかけることにした。

▼藤原慶正県医師会理事から諸報告。それはさておき

▼甲子園疲労の理事会、大阪桐蔭に敗れはしたが準優勝に輝いた金農を激賞。本日午後の決勝時間帯に受診

したのは空気を読めない患者数名だった、後半の金農は3者凡退が続く敵の攻撃時間ばかり長く、早めに吉田投手を打川に交代すべきだった、レギュラー9名は当医師会地区4名、秋田市医師会地区5名と地産だった、秋田県民をこれほど鼓舞した金農の精神衛生上の功績は：脱線は尽きない。



金農パンケーキとデニッシュドーナツ

『Change Is Now』

『食道癌の治療の進化』



秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻

腫瘍制御医学系 地域がん医療学講座

教授 本 山 悟 先生

日時▼平成30年7月26日  
場所▼ホテル大和

本日は食道癌のステージごとの標準治療についてと、今後どうなっていくかを主観も交えて話をします。そして最後に、この4月に保険適応になった食道癌のダヴィンチ手術についても簡単に触れる。

現在のステージⅠの食道癌の標準治療は手術であり、手術が出来ない場合の代替治療は化学放射線療法である。今後もしもそれはいいかどうかをいろいろな治療法の5年生存率で比較してみ

た。手術後の5年生存率は80% (秋田大学では90%) であるが、化学放射線療法後に再発してサルーベージ手術を受けた場合の5年生存率は75%、内視鏡的粘膜炎下層剥離術後に限局的化学放射線療法を加えた場合の3年生存率は90%で、5年生存率も85%以上が予想される。また、まだ限られた施設でしか行われていないが、陽子線を使った化学放射線療法での3年生存率は96%で、5年生存率も90%以上と予

想される。手術をするとう割以上治せるが、食道温存は出来ず手術後の合併症は必ず起こる。

一方、食道温存が出来る化学放射線療法の治療成績は向上してきており、陽子線と化学療法を組み合わせた治療も今後、大きな治療成績を上げるのではない

かと思われる。したがってステージⅠに対する手術は今後増えないであろうと予想されるが、常に癌が再発するであろうという恐怖感との闘い、年に何回も内視鏡検査をしなければいけないという心理的な負担を考えると手術も決して捨てたものではないと考えている。

ステージⅡ～Ⅲでの現在の標準治療は、化学療法あるいは化学放射線療法をやってから手術をするというものである。それが出来ない場合は

最初から手術をして、リンパ節転移があれば抗癌剤治療を追加する。さらに、

手術を受けたくない人は化学放射線療法をして残ったら救済手術もありうる。以前は手術後に化学療法をやるのが標準治療であったが、現在は手術前に化学放射線療法を施行するのが標準治療である。5年生存率は約60%である。

術前化学放射線療法を受けた食道癌で手術後に免疫チェックポイント阻害剤を投与する治験に参加している。秋田大学の症例登録数は全国1位、世界で4位であり、データが世に出れば秋田大学の貢献も同時に世に出ることとなる。ステージⅡ～Ⅲの5年生存率70%を目指している。

ステージⅣでは化学療法、放



手術支援ロボット・ダヴィンチ

射線療法との組み合わせまたは単独療法が標準治療であり、手術の文字は一つもない。秋田大学の放射線治療の成績は、ステージIVでは1割程度しか治せないのが現状である。しかし外科では今、ステージIVでも手術しか方法がなければ手術をやる方向

で動き始めている。例えば大動脈への直接浸潤が疑われる場合、心臓血管外科と共同して大動脈の部分切除・人工血管置換術と組み合わせるステージIVの食道癌手術をしたりしている。これまでダヴィンチ手術は前立腺癌と腎部分切除だけが保険

適応だったが、平成30年度、一気に12の手術が保険適応になった。その中に食道悪性腫瘍手術も入っている。ダヴィンチ手術は、人の手よりも多くの関節を持ち、奥の病変に到達するアームで手ブレもなく手術をするこ

とが出来る。3D画像で何倍にも拡大できるためより細かな手術が出来る。秋田大学でも症例を重ねている。将来は、広範囲の病変の手術をするための開胸手術と、限局的な病変を手術するための、胸腔鏡下手術に代わるダヴィンチ手術の二つに分かれていくものと思われる。

## 『高齢社会における骨粗しょう症治療の重要性と顎骨壊死の問題』

知っておくべきポイント



秋田大学大学院 医学系研究科  
機能展開医学系 整形外科学講座  
准教授 宮越尚久先生

日時▼平成30年8月9日  
場所▼ホテル大和

今回は男鹿潟上南秋医師会、男鹿・潟上・南秋歯科医師会の共催で講演会が開催された。医師会会長佐々木範明先生、歯科

医師会会長石井秀彦先生の挨拶の後、宮越尚久先生より御講演頂いた。

最近、骨吸収抑制薬（ビスホスホネート薬、デノスマブ）を服用している骨粗しょう症患者の中に顎骨壊死を生じる症例があることが報告され、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死と呼ばれている。骨吸収抑制薬を使用している骨粗しょう症患者で侵襲的歯科治療が必要になった際、休薬の可否、侵襲的歯科治療の可否について判断を迫られるが、基本的には骨吸収抑制薬投与による顎骨壊死が生じる危険性と骨折を予防する有用性、言い方を換えると骨吸収抑制薬休薬による骨折を生じる危険性と顎骨壊

死が生じない有用性を天秤にかけて判断する。

重症骨粗しょう症の患者が骨折をした場合、手術をしても骨融合しなくて骨移植をしたり手術を何度もしたりすることがある。何とか手術をしても荷重をかけることが出来ず寝たきりになることもある。また、手術のための全身麻酔で認知症になる危険性が高くなる。したがって、効率の良い骨粗しょう症対策は、予防と早期発見、早期治療に尽きる。

骨粗しょう症の予防と治療ガイドライン2015年版による



草生津川のコスモス

死発生の減少は認められておらず、一方、ビスホスホネート医薬で骨粗しょう症患者の症状悪化、骨密度低下および骨折の発症が増加すると報告されている。

と、生命予後に大きく影響する椎体骨折と大腿骨近位部骨折の両方を抑制する薬剤はアレンドロネートとリセドロネート(ともにビスホスホネート薬)とデノスマブの3つだけであり、顎骨壊死を生じるリスクのあるビスホスホネート薬とデノスマブはエビデンスレベルで言うとして使わなければならない薬剤である。

骨吸収抑制薬の投与を受けている患者の侵襲的歯科治療において、日本骨粗鬆症学会が行った調査結果では、骨粗しょう症患者においてビスホスホネート薬を予防的に休薬しても顎骨壊

死発生の減少は認められておらず、一方、ビスホスホネート医薬で骨粗しょう症患者の症状悪化、骨密度低下および骨折の発症が増加すると報告されている。他方、米国口腔顎顔面外科学会では、骨吸収抑制薬を4年以上投与されている場合、あるいは顎骨壊死のリスク因子を有する骨粗しょう症患者に侵襲的歯科治療を行う場合には、骨折リスクを含めた全身状態が許容すれば2か月前後の休薬について主治医と協議、検討することを提唱している。侵襲的歯科治療

前の休薬の可否に関しては統一した見解は得られていないため、国際的レベルで医師、歯科医師、口腔外科医を含むチーム体制での休薬可否に関する前向き臨床研究が望まれる。いずれにせよ骨粗しょう症患者に対する侵襲的歯科治療においては、徹底した感染源の除去と感染予防、そして綿密な計画に基づき、細心の手技を尽くして治療を進める必要がある。

全ての歯科治療は骨吸収抑制薬治療開始の2週間前までに終えておくことが望ましい。しかし、がん患者で骨吸収抑制薬治療を遅らせることが出来ない場合や、骨折リスクが高い骨粗しょう症患者では骨吸収抑制薬治療と歯科治療とを並行して進めることもやむを得ない。リセドロネートやデノスマブでは10〜20人を治療することで1人の椎体骨折を予防出来る。一方、骨吸収抑制薬投与による顎骨壊死の発生頻度は年間10万人あたり0.7件と報告されている。あらためて骨吸収抑制薬投与による骨折予防の有用性と顎骨壊死発生の危険性を天秤にかけて侵襲的歯科治療の可否、骨吸収抑制薬の休薬の可否を判断する必要があると考えている。



吉田賢志記者

## ふんふんコラム

### 多目的ダムの矛盾

7月初旬の西日本豪雨。ダム決壊を恐れた当局の判断で大雨の最中に放流が行われ、氾濫した川の濁流に呑みこまれた街では車も家も押し流され、屋根の上で救助を待つ人々の姿がテレビで放映された。

多目的ダムは洪水調節と発電を目的としている。洪水対策ならダムは常に空っぽにしておく必要があり、発電のためには満杯にしておかねばならない。

この矛盾は高校時代に読んだ安倍公房の『砂漠の思想』で指摘されていて、何事によらず「多目的」は臭いとあった。取り壊し中の秋田県民会館がその典型で、逆に度肝を抜く由利本荘アリーナは、よくもまあと我が故郷ながら感心せざるを得ない。

起工式が終わった鳥海ダムも多目的。洪水調節や水道水確保等を謳うが、西日本災害と同じ轍を踏まぬよう…天災は今や忘れないうちによって来る。(ふんころがし)

# ワンポイント アドバイス ②②

おらほの先生から一言



## 10年も止まらない 両手掌のしびれ

### 質問

50代半ばの妻は、両手の平がピリピリする、しびれるなど、はつきりしない症状で時々病院を受診し、しかし、いつも「何ともない」といわれて帰ってきます。10年前からこの調子ですが、本人は必ず何か病気があるはずだと頑固です。なぜこんな症状が起こるのか、家族はどう対応したらいいのでしょうか。

### ご指南役

加藤診療所（男鹿市）

加藤 一磨 先生



両手掌のしびれは、頸椎症、肘関節症、膠原病、ビタミン低下を含む低栄養、中毒などの他、数多くの神経内科疾患で出現します。私の専門領域は神経内科です。脳、脊髄、神経、筋肉の病気は当院にお任せ下さい。30年前前、岐阜から秋田帰省は、羽越線周りの各駅停車で、夕方乗車で翌朝到着という長い夜汽車でした。向かい座席の50歳代の男性が、時々両手をぶらぶら振ったり、握ったり開いたり、手掌をズボンにこすったりを繰り返していました。その頃、中枢神経（脳、脊髄）および末梢神経（脳、脊髄から出る神経）が障害されて、全身のし

びれ、痛みを来す病気にとり組んでいました。すぐに興味を持ち、手がしびれるんですかと聞いたところ、両側手掌のしびれが続いている、指先から始まって手掌までのびてきた、時々ペンや箸を落としてしまう、あちこち受診したがいつも異常ないと言われていて、10年も止まらない。

私はこの人のこれまでの経過について耳を傾けました。

手のしびれを訴える患者に対して患者が満足できる回答を出すことは大変困難です。その理由は、運動障害、自律神経障害でみられる症状は客観性が高く、わかりやすいのに対し、しびれ、かゆみ、痛みなどの感覚障害は、患者の主観以外に情報がないようにみえること、患者の腹の虫の居所で症状が変化するからです。感覚障害の程度は秤を使って判定できないことから、しびれの原因診断は一層難しくそうです。医師が不機嫌だと、診断に必要なエネルギーの

不足で、どこも悪くない、精神科に行ったらとかで済まされることもあります。

感覚障害を来す疾患はたくさんあります。紙面の関係で羅列しません。私の患者への問診です。1、症状はいつ頃から出現していますか 2、症状はあなたにとって生活の妨げとなっていますか 3、症状は増悪していますか 4、感覚障害の種類（温痛覚、触覚、振動覚など）、分布領域はどこですか 5、過



晩夏のトンボ

去の病気、現在治療中の病気はなんですか 6、現在のんでいる薬、サプリメントはありますか これでは神経障害が本当にあるのか、原因はなにか、と7割方診断できています。 7、それでは診察しましょう。

神経学的診察は鼻先から尻尾に及ぶ意識、知能、運動・感覚・自律神経機能について行われませす。診察法の内容は述べません。上記1から7までの行為は、外からみていると、花も月もないつまらないものに見えるかもしれません。しかしこの中に神経内科の神経があります。

大変冗長で、12時間の夜行列車で、見ず知らずの対面のお客さんと退屈のしぎにお話するのにちょうどよかったですと思います。背中もお尻も痛くなってきましたし、下肢がしびれてきました。新聞紙を通路に置いて体を伸ばしたいところです。秋田までまだ数時間あります。

感覚障害を来す疾患は、内科、脳外科、整形外科、泌尿器

科など他の科と関わる場所があり、多くの鑑別診断が必要なことから神経内科医師にとつては大変難解かつやりがいいのあるものです。

## 新入会員



藤原記念病院（潟上市）

渡部 久美子

本年5月より医療法人慶徳会藤原記念病院で勤務させていただくことになりました渡部久美子と申します。湯沢高校を卒業後に自治医科大学へ進み、卒業後は秋田県の指示のもと県内の

公立病院で地域医療に従事しておりました。出産・育児のために休業していたところ、ご縁がありまして現在の病院でお世話になることとなりました。何卒宜しくお願い致します。

私の出身地は東成瀬村という県境にある人口2500人ほどの小さな村で、冬は3メートルほど雪が積もる自然いっぱい場所です。今は統合してなくなっしまいました。母校の小学校は全校生徒30人程度で、複式学級の学年もありました。そんな過疎の村である故郷の自慢としては、学力日本一になったことです。日本全国からだけでなく、海外からも教育に携わる方たちが視察にいらつしやるそうです。学習塾もない村の子供たちの学力が高いと注目してもらえるのは誇らしいことです。数年前に役場に勤めている同級生から久しぶりに連絡が来ました。同級会のお誘いかなと思っていると、東成瀬小学校で講演をしてほしいとのこと。ふ

るさと先生といつて、東成瀬村出身者で村外に出て活躍している人に講演を依頼しているのだとか。私が活躍できているかは置いておいて、同級生からお願いを断るわけにもいかずお引き受けすることにしました。小学生相手に医学部進学の話や臨床実習・医療の仕事内容をわかりやすく話すための原稿作りはとて時間もかかりました。学会発表よりも真面目に取り組んでいた気がします。

そして、講演当日。統合後の



ニッコウキスゲ（鳥海山）

東成瀬小学校には初めて入りました。子供たちそれぞれの夢が大きく掲げられていて、あちこちから元気な挨拶の声をかけてくれました。講演を始めると、まっすぐな瞳で真剣に話を聞いてくれ、誰一人寝たりおしゃべりしたりする子はいませんでした。質疑応答でも全員が手をあげていて、なかなか鋭い質問もありました。後日全員分の感想文が郵送されてきて、自分の話を聞いて色々なことを考えてくれたことを嬉しく思いました。

小学生たちと接してみても、挨拶や人の話をしっかり聞くという基本的なことをちゃんとできて、何事にも疑問を持って解決のために動くという姿勢を感じることができました。このような教育が学力日本一につながったのだろうと実感しました。自分が親になって、教育の大切さを日々感じている中で、東成瀬村での学校生活を思い出しながら子供に向き合っていこうと思います。

最後に村の観光の宣伝を。村にはジュネス栗駒スキー場、栗駒山荘、キャンプ場がいくつもあります。野菜などの直売所なども国道沿いに何か所もありま

す。登山や紅葉狩り・ウィンタースポーツ・温泉旅行などの際にはお出かけ先としてぜひご検討ください。



## 五城目の中ちゃん三たび —どこかで最期を 迎えたいですか?—

湖東厚生病院（八郎潟町）

中 鉢 明 彦

### ■父の死を通じて感じたこと

私の父は今年2月、大崎市民病院で肺炎により最期を迎えました、89歳の生涯でした。父は2014年秋に前立腺癌・骨転移と診断され内分泌療法により病状は小康状態を得ていましたが、虚弱（フレイル）が進行し日常生活の中で母の援助を受ける機会が多くなっていました。その後、徐々に骨転移が進行し2017年秋からは歩

んでいたようでしたが16日夕から熱が上がり朦朧としてきたため訪問看護師の判断で救急要請してもらい肺炎で再入院となり、そのまま病状の回復なく23日に亡くなりました。

2回目の入院で母はずっと病院に泊まり込みで世話をしましたが、自宅での介護を含めて出来るだけのことをしてあげたから悔いはない、最期まで余り苦しまなかったから良かった、本人も満足だったのではないかと、お悔やみにきた親族や近所の人達に繰り返し話していました。一方で父が最期を何処で迎えたかったのかは私には分からないままでした。病状については病院から貰ってくる検査データをみながらその都度、説明していましたが「死」とか「最期」という言葉を交えた内容で父と話をする機会は結局、作れませんでした。「死」という言葉は、病状が進んでいない早い時期では現実味に乏しく無用な不安を煽ってしまうことが懸念



玉川ダムの秋

自分自身の親の死を通じて、望み通りの最期を迎えることが本当に難しい時代になっていることを改めて感じさせられました。

■最期を迎えたい場所、最期を迎えられる場所

される、逆に、死期が間近に迫っている余りに遅い段階では、妙に現実的すぎて切り出し難い所がありました。父も本当は自分の両親と同じように自分の家で最期を迎えたかったのではないかという思いが今でも頭にをかすめます。私の地元には今、在宅で看取ってくれる医療機関はありません。そうであれば、「お前が家で看取ってくれても良いんだぞ」と心の中で思っていたのかも知れません。

数十年前、別の言い方をすれば高度成長期以前までは日本では自分の家で死ぬことが当たり前であり死というものは家族そして地域と伴にある身近なものでした。昭和の後半から平成にかけての半世紀、日本が経済的豊かさを増すと伴に死は家や家族から隔離、分断された遠い存在となってきました。そして現代では最期を迎えられる場所は様々な要因により影響を受け多様化してきています。ひとつには、それぞれの人が抱えている病気（癌、認知症、循環器疾患など）という医学的要因、もうひとつは病院や介護施設などのインフラを始めとする社会的要因、最後に、そして、おそらくこれが最も大きな比重を占めると思われる家族の介護力や経

済力などの家庭的要因があげられます。私たちが最期を迎えられる場所は、こうした様々な要因が絡み合いながら決まってしまう、そして、ひとりひとりの希望や願いは叶わないことが多くなっているのも現実です。たとえば、厚労省の終末期に関するアンケート（2017年12月）では、がん終末期に最期を迎えたい場所の半数近くが自宅という結果でしたが湖東厚生病院に

おいては、がん終末期の患者さんの中で自宅で最期を迎えられたのは169名中わずかに10名でした。それでも、いやこういう時代だからこそ、納得のいく最期を迎えるためには最期の時に向かっただけのようにして欲しいかを元気なうちに家族と話し合っておくプロセス（アドバンス・ケア・プランニング・ACP）がとても大切なことではないでしょうか？

## 書類—情報提供書の怪

杉山病院（潟上市）

肥田野 文夫

精神科の患者さんが内科などの身体科を受診することはよくあり、幻覚妄想状態で「腸にヘビが入っているから取ってくれ!!」と興奮して騒がれても医師は何もできないのは当然で

す。外来診療ではめったにそんな重症の患者さまはおりませんが、ストレスからくる動悸や頭痛などの身体症状で検査上何も出てこない時などの精神科紹介はまあ普通で、患者さん御本人

に受診の希望があれば何ができないかは別として微力ながら対応させて頂いております。

以前から違和感があるのはむしろご同業からの紹介です。クリニックが増えるにつれ（別にクリニックに限らない、病院精神科からでも）依頼がそれなりにあります。「先生と合わない」は患者さまがよくいわれることで、即座に「あなたならどの先生とも合わないのじゃない？」と答えてしまいそうですが、このごろは少し自粛しております。紹介理由が、症状が落ち着いてきましたので、さらに「手のかからない患者さまです」と注釈がついてくるのは要注意です。また、自宅が貴院に近いので、主治医が高齢になりましたので、患者さまが希望されまし



たので、当院はもう卒業なので、なのですが、これが怖いのは患者さまのお話と全く違うからです。つまり症状は病氣真っ盛り、自宅がはるか彼方、現主治医より肥田野が年寄り、患者さんはまったく転院したくない、などなどです。初診から数回診察してみても、どうもこの患者さんは診断も治療の方向もよくわからない：：なら「御高診・御加療を」もわかるのですが（それなら天下の大病院でしょうが！）、数年なかには10年以上長期にわたってかかっている方を突然ご紹介頂くのも意味不明です。

精神科は（精神科に限らずですが）『誤診』でもなければ、どこにかかってもそれほど治療に差があるわけではなく、外科系のように「あの先生しかこの手術はできない」、内科での「やっと専門の先生から診断してもらった、原因がわかって安心した」という神の手はありません。精神疾患の難治例は世界

中どこに行っても治療は多分あり得ず、完治は神や仏や呪い師の出番になります。だからといって、「治らないのは自分以外の医師に：」なら初めから精神医療をなりわいとしないう方がいいですね。「手のかからない：」とわざわざ注釈がついてくるのは「手がかかる」のではと勘ぐります（私の友人は淑女を誘う時に「君はめんどうな女性じゃないよね」と念を押すそうです）。

そういう紹介に限って、情報提供書が立派なのです。受診までの経過、病歴、既往歴、家族からの聴取、現症、治療方法とそれに対する反応が微にいり細にいり記載されていてA4用紙4ページに至ると短編小説を無理やり読まされている気になり、前述したように「症状が落ち着いている」はずの結末が、目の当たりにしている患者さまとまったく別なものなので、イヤミス（後味の悪いミステリー）の読後感と同じ強い不快感を感



実りの秋（八郎潟町）

じ、こちらの方が病氣になりそうなので、長い文章は最初からなかったことにするようにしました。空疎な内容がやたらに丁寧なのが妙に悪意を感じ、最近「紹介状をいただきました」という精神科・心療内科・小児科からの転院受診依頼はすべて電話予約の段階でお断りして発信元の先生に後々の御迷惑をおかけしないように心がけております。

今日の診察室から 39



湖東厚生病院  
(八郎潟町)  
整形外科  
鵜木 栄樹

今野則和先生（男鹿みなと市  
民病院）よりバトンタッチをう  
け、原稿を書いております。湖  
東厚生病院整形外科の鵜木栄樹  
と申します。早いもので、湖東  
厚生病院に転勤になって、3年  
が経ちました。「今日の診察室  
から」という題目のエッセイを  
書け、とのことでした。

日々の診療で思いますこと  
は、男性の患者さんって、本当  
に少なくなってきたなー、というこ  
とです。年々、男性患者さん  
減ってませんか？ 秋田市内と  
は事情が異なるのでしょうか、  
当科では、来院する患者さんの  
9割は70歳以上の高齢者でほぼ  
女性、残り1割に60代と小児・

学童で、30〜50代の患者さん  
は、外傷でたまに受診するくら  
いで、減多におりません。実際  
の数字を調べたわけではありません  
せんが、そう思えるほど、本当  
に高齢女性の割合が高いんで  
す。

前回の今野先生のエッセイと  
被りますが、本当、女性は長生  
きです。2017年の厚生労働  
省の調査では、日本人の平均寿  
命は女性が87・26歳、男性が  
81・09歳で、ともに過去最高を  
更新したとのこと。都道府  
県別では、秋田県は女性86・38  
歳（44位）、男性79・51歳（46位）  
で、残念ながら、日本全国でみ  
ると長寿とはいえないのです  
が、男女差は6歳くらいで、女  
性が長生きなことは確かです。  
なぜ、女性が長生きなのか？

様々な説がありますが、日本人の  
死因トップであるがんは、男性の  
方がなりやすいというデータが  
あります。16年にがんて亡くなっ  
たのは男性の21万9785人に  
対し、女性は15万3201人で  
した。たばこなどの生活習慣が  
関係しているようです。ほかに  
も、女性ホルモンには、女性の

体を守る働きがあると考えられ  
ています。女性ホルモンのエス  
トロゲンには悪玉のコレステ  
ロールを減らし、血管をきれい  
にするなどの作用があるよう  
です。これによって脳卒中や心臓  
病につながる動脈硬化を抑えら  
れると考えられています。遺伝  
的な理由として、性別を決める  
性染色体の違いが関係してい  
るとの説もあります。女性はX染  
色体が2本あって一方に異常が  
あってもカバーできるのに対  
し、男性は1本しかなく、病気  
にかかりやすいという考え方  
です（本当かな？）。

以上のように様々な説があ  
り、なぜ女性が長生きかについ  
ての明確な理由は不明ですが、  
最近、Newsweek日本版で次の  
ような記事を見つけました。

「朗報！ 女の最高の幸せは  
85歳から 長生きしてみる価値  
は十分ある」

Women Over 85 Are Happier  
2018年07月23日（月）17  
時00分（シドニー・ペレイラ）  
イギリスで行われた健康調査  
によれば、女性は年を取るにつ  
れて幸福度が増す。女性は人生



水心苑の落ち葉

の大半を通じて、男性よりメン  
タルヘルスに問題を抱えている  
割合が高い。だが85歳を過ぎる  
と、男性は幸福度が低下する一  
方で、女性の場合は高くなる。

確かに、高齢女性患者さんは、  
明るい人が多い気がします。男  
性より、良く笑ってらっしゃる  
方が多い。これも長生きの要因  
の一つかもしれませんね。  
それでは、次回は、たむら船  
越クリニック副院長の田村俊子  
先生にバトンタッチします。よ  
ろしくお祈りします。

# ナイト キャンプ

あの一杯のためなら！

たむら船越クリニック（男鹿市）

田村 広美



1週間のテント生活。今までの人生で一番長いキャンプだった。

8月、お盆前の1週間、能登半島の先っぽ、珠洲市で第17回日本スカウトジャンボリーが開催された。国内外からスカウト1万3千人が集まる4年に1度のボーイスカウトのお祭り。僕は秋田県連盟

の派遣団長兼救護班として参加した。

副院長とスタッフの「1週間？ 本気？」という視線に気づかないふりして出発。僕の配属は北海道・東北ブロックのサブキャンプ本部、安全救護班の救護責任者という立場だ。

初日は、救護テントの中が41℃まで上がる猛暑日、野外の作業は安全のために何度か中断された。しかし夜は、Tシャツ1枚では寒くて寝られない。どうせ真夏の海辺のキャンプだからかな。寝袋を持っていくかな。夜中にザツクの底からレイノウェアを引っ張り出す羽目になった。

子供たちは朝6時頃から炊事を開始する。同時に救護テントもオープン。ナタの切創、虫刺され、日焼け、頭痛、腹痛、目にゴミ、咳、のど痛い、発熱：そして熱中症。僕らのサイトには、スコットランド隊の連中も一緒にキャンプしている。暑さとは無関係な汗をかきながらたどたどしい英語で応対する。僕らの救護所は医療機関ではないので、わずかの市販薬、経口補水液、水と扇風機だけが武器だ。あとはお医者さんの優しい微笑みと根拠の薄い「大丈夫、心配ないよ」の一言。どうして

も改善しない、あるいは重症が予想される時は中央救護所へ送る。ここは医師、看護師それぞれ数名ずつの体制で点滴や縫合処置も可能だ。

他ブロックの救護所では医師や看護師不在のところもあり、中央救護所は大忙しのようだった。大会5日目に中央救護所の所長から、「いやー、こちらの救護所では（中央救護所への搬送を）だいたい食い止めてくれてるみたいで、ありがとうございませう」と言われ、ちよっと嬉しかった。まーね、ボーイスカウト秋田県大会の救護班、男鹿フェスの救護班、震災の時の救護班：いろいろ経験したしね。せっかく自分がそこにいるんなら多少は存在感を示したいよね。他の誰でもない、僕がいるんだから。

連日朝6時から22時まで救護所を開設、交代で食事、仮設トイレ、シャワー（なんと水しか出ない！）に行く、そしてテント暮らし。そんな生活だったが、思いのほか元気だった（実は、自分が最初にへばっちゃうんじゃないかと密かに心配していた。意外とやるじゃん。俺）。

お盆明け、派遣隊の荷物の片づけの時に、久しぶりに子供た

ちに会った。「めっちゃ、楽しかった」「疲れたけど面白かった」「ねえ、4年後は東京だつて。絶対行くよね」「うん行く行く。俺たち中学生になつてるな」「あたしは高校だから今度行くときはスタッフかな」

子供たちの話題は、思い出すから4年後のジャンボリーへ：突然こちらを振り返って、「ねえ、田村さんも行くでしょ」「えっ？ 4年後は、俺は本格的なお爺さんだしましうよ。一緒に。楽しいですよ」

確かに楽しかった。そして、あの一杯！ 帰ってきた日に飲んだカリラ9年。56・9度の若いアイラウイスキーは本当に旨かった。大会期間中は禁酒だったからなあ。あの一杯のためならもう一度行つてもいいかな：でもジジイになつてるだろうなあ：元氣なジジイなら大丈夫かな：。

その日の夜、いつものようにウイスキー片手にボーっとしている僕に、「4年後も元気だつたら考えてもいいよ」まだ何にも言っていないのに：奥さんって：すごい。（酔）

やや沈静化したかに見える金農  
 フィーバーであるが、どっつきい、超  
 人気の金農パンケーキに続くデニツ  
 シュドーナツがまた激しく甘い。商  
 業利用に厳しい高野連も勢いに押さ  
 れ規制緩和の方針を打ち出した。県  
 が作成したポスター「秋田の熱い夏、  
 応援ありがとう黄金色の農村から」  
 が泣かせる▼それにしても暑い夏  
 だった。祇園祭の京都3日間は体温  
 を超える39度。ふつふつと脳みそが  
 煮えたぎったその10日後に出かけた  
 『オペラ白虎』の会津も35度。誘っ  
 てくれた関先生の終演後の顔も忘れ  
 難く、心から、ありがとなし▼更に  
 10日後に登った鳥海山の雨は冷た  
 かったが、盆過ぎの大久保「八郎祭  
 り」では、潟上市に合併前の飯田川、  
 昭和、天王の3町から金農レギュ  
 ラーが各1名ずつとあって市長は狂



ネコバリ岩（五城目）



大久保の秋

100名を超す利用者の  
 避難の様子をご報告  
 いただき驚いた。当日  
 は12時41分に五城目町  
 からエリアメールで土  
 砂災害警戒情報が携帯  
 に入り、北朝鮮のミサ  
 イル発射情報と同じで、  
 またかとあまり気に留  
 めなかったが、迅速な  
 対応をされた関係各位  
 には頭が下がる▼久々  
 登場の中鉢先生によれ

喜、観客を巻き込んでバンザイ三唱  
 する熱さであった▼かくするうちに  
 金農紫を打ち上げた大曲の花火が終  
 わり、不眠やうつ気分を訴える初秋  
 の外来が始まり▼多数の玉稿に感謝  
 ▼浅利先生は金農の快進撃から半世  
 紀前の三沢高と松山商業の激戦を再  
 現。へそ曲がりの肥田野先生も今回  
 は素直に金農讃歌。が、返す刀で紹  
 介状の怪をバツサリ▼加藤先生の  
 「しびれ」と中村先生の「しみ」に  
 納得▼何事につけマメな範明会長は  
 金農のツアーランスクイズを見逃し  
 た。編集子も最初の1点が入って乱  
 舞し逆転の2点目は見ていなかった  
 ▼外来患者は男が少ないと鶴木先  
 生。だが秋田の500才野球大会で  
 は、こんな数の野郎どもがどこに潜  
 んでいたのかと呆れるくらい燃えて  
 いた▼38度を記録した五城目の笹尾  
 先生は東京医大の入試問題と女性医  
 師および医師の適性について述べら  
 れた▼晴樹先生から5月豪雨の際に

ば、湖東厚生病院のがん末期患者が  
 自宅で亡くなる割合は169名中10  
 名と意外に少ない▼渡部先生はふる  
 さと東成瀬村で課外授業「ようこそ  
 先輩」をやった。同村は高い学力だ  
 けでなく逸材を輩出することでも有  
 名だ。当地でも励んで頂きたい▼田  
 村先生のボーイスカウト活動は今な  
 お熱い。相澤先生はこまち球場の  
 フェンスに広告を出しているが、金  
 農の吉田投手の中学時代を語ってこ  
 れまた熱い▼今号も吉田記者の勉強  
 会記事に感謝。宮腰先生の講演には  
 11名の歯科医師が参加。種々の統計  
 等から骨粗しょう症の薬と顎骨壊死  
 はほぼ関係ないと述べられ、些か拍  
 子抜けした▼本山先生は、手術支援  
 ロボット「ダヴィンチ」は操作が簡  
 単なため数回の訓練で技術習得が可  
 能、だが慎重な学会のおじさまたち  
 は専門医や手術の経験数等の障壁を  
 設け取扱い資格の要件を厳しくして  
 いると述べていた。今やゲームに秀  
 でた若者がコンピュータ兵器を駆使  
 する時代と聞くが：▼女優の樹木希  
 林が9月に75才で逝去。画家の熊谷  
 守一を描いた『モリのいる場所』（H  
 30年）で飄々と妻を演じていた。守  
 一は「絵は下手がいい。うまいと先  
 がない」という言葉を残している。  
 執筆も同じ。会員諸兄弟の奮起を期

お便りは 〒018-1401 潟上市昭和久保字町後173-42  
 ハートインクリニック 佐々木 康 雄  
 医師会メールアドレス info@oknmed.jp

待し次号は来年早期に発行予定。  
 よろしく！  
 （編集長・佐々木康雄）

表紙説明  
 金農カラーにライトアツ  
 プされたセリオン  
 匿名希望の本誌愛読者

夏の猛暑を吹き飛ばした金農の  
 活躍に県民は酔いしれ、全国に「秋  
 田はキラタンポと秋田犬だけでは  
 ない」と効果抜群の宣伝になりま  
 した。かかりつけの先生は「経済  
 効果はセリオンタワー15本分」と  
 まだ金農後遺症を楽しんでいろよ  
 うです。



興奮さめやらぬ8月23日に土崎  
 港で撮影しました。肉眼よりレン  
 ズを通して  
 方が薄暮の  
 空にあざや  
 かな金農紫  
 です。追分  
 駅前にもい  
 ましたね。  
 うわさの  
 金農病  
 患者さん  
 が。